

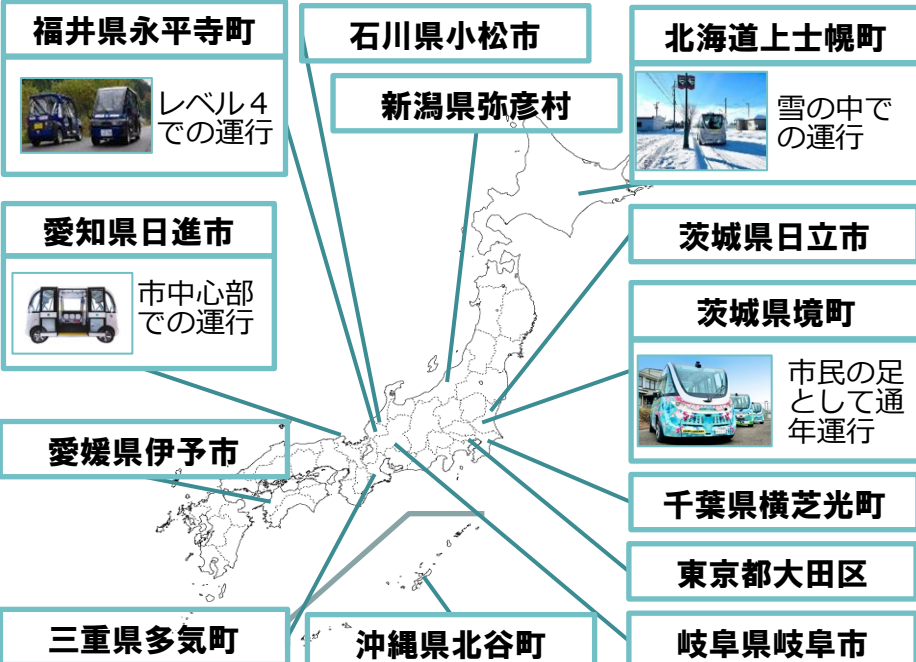
地域公共交通等における自動運転の推進

- 自動運転について、国際標準化も見据え、2025年度目途 50カ所程度、2027年度 100カ所以上の目標を実現※ するべく、2024年度において、**社会実装**につながる「**一般道での通年運行事業**」を20カ所以上に**倍増**するとともに、自動運転のすそ野拡大を図るため、**全ての各都道府県**で**1カ所以上の計画・運行**を目指す。
※デジタル田園都市国家構想総合戦略(2022年12月閣議決定)
- 交差点等での円滑な走行を支援する「**路車協調システム**」の整備など、**道路側からの支援も推進**する。

2023年度

- 62件の事業を採択し、全国各地で展開。様々な状況における**実走行データの収集**などを通じ、**自動運転技術の向上**を目指す。
- うち、**10カ所以上で一般道での通年運行事業**を実施予定。

自動運転バスに触れ、**便利さを実感**し、自動運転への**理解と期待 (= 受容性)**を高める。

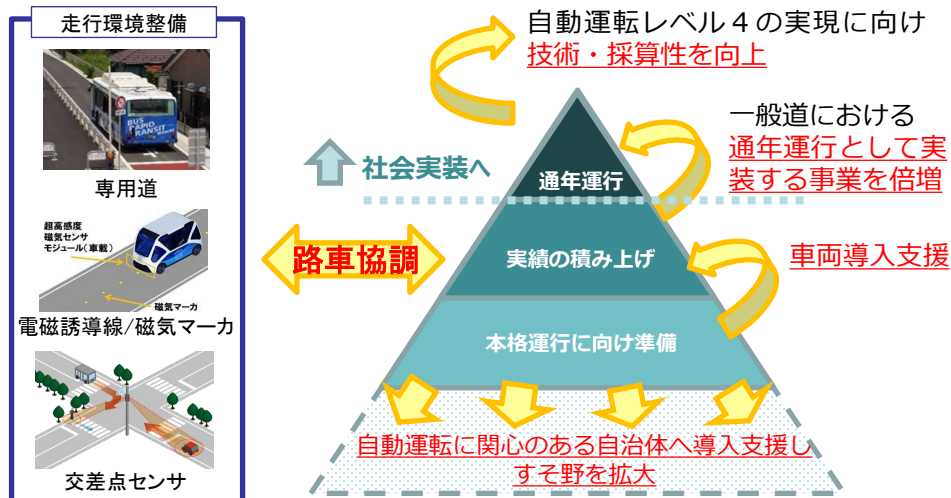


※上記は一般道での通年運行を実施予定の自治体

2024年度

- 1) **社会実装**につながる「**一般道での通年運行事業**」を**20カ所以上に倍増**するとともに、**交差点等での円滑な走行を支援する「路車協調システム」**の整備等**道路側の環境整備も実施**
 - 過疎地・都市部といった地域性や、通勤・通学需要への対応など、地域課題に応じた事業を積極的に支援。
 - 通年運行を行う中で、事業採算性の確保方策についても検証。
- 2) **全ての各都道府県**で**1カ所以上の計画・運行**を目指す

全国各地で「いつでも・気軽に自動運転バス・タクシー」に触れ、地域の住民から「見える」自動運転の導入を促進



- 3) **高速道路**においても**自動運転レーン**を活用した**自動運転トラック**の**社会実装に向けた取組**を実施